

平成 22 年第 2 回定例会の開会にあたり行政報告を申し上げます。

1 北広島市長期総合計画について

初めに、北広島市長期総合計画についてであります。昨年 7 月に審議会を設置し、村山紀昭会長をはじめ、30 名の委員の皆様へ審議をいただき、4 月 28 日に答申を受けたところであります。

答申では、まちづくりのテーマについて従来からの「自然と創造の調和した豊かな都市」を継承することとし、「希望都市」、「交流都市」、「成長都市」という 3 つの都市像を設定して本市の目指すべき方向を示したものとなっております。なお、この答申を踏まえ、本定例会に新しい基本構想を提案させていただいたところであります。

2 北広島市学校跡施設市民検討会議について

次に、北広島市学校跡施設市民検討会議についてであります。5 月 10 日に公募による 3 名を含む 15 名に委員を委嘱し、北広島団地内の小学校統合に伴う学校跡施設の利活用に関する調査・審議をお願いいたしました。検討会議では、2 校の現地視察なども行い、利活用方策についての報告書を年度内にまとめていただく予定となっております。

3 姉妹都市締結 30 周年記念事業について

次に、姉妹都市締結 30 周年記念事業についてであります。本市と東広島市が昭和 55 年に姉妹都市を締結してから、今年で 30 年目を迎えることとなります。この節目の年に両市の今後のさらなる発展や交流の推進につなげていくことなどを目的として、「交流を深めよう」、「お互いのまちを知ろう」の 2 つのテーマを柱に友好と交流をさらに進めるため、子ども達による調印式や記念植樹などの事業を展開してまいりたいと考えております。

4 生ごみ分別収集モデル事業について

次に、生ごみ分別収集モデル事業についてであります。来年4月より市民の皆様が生ごみを分別排出していただくため、モデル事業を大曲末広第1町内会ほか2自治会、約350世帯の協力を得て、今月より実施してまいります。

約2カ月間、カラス対策用の黄色いごみ袋を協力世帯に配布し、実施するとともにごみ質等の調査、分別に関するアンケートも行い、本格実施に向けた準備を進めてまいりたいと考えております。

5 道央地域ごみ処理広域化推進協議会について

次に、道央地域ごみ処理広域化推進協議会についてであります。5月24日に協議会が開催され、恵庭市の離脱が了承されました。なお、当面、協議会は1市4町で構成し、体制を整備することとしております。

6 地域子育て支援センター「あいあい」について

次に、地域子育て支援センター「あいあい」についてであります。常設の施設として5月8日にオープンし、5月中の利用者数につきましては延べ387世帯817人となっております。今後につきましても子育て相談、情報の発信、親子の交流など地域の子育て家庭に対する支援を行ってまいります。

7 緊急雇用対策事業について

次に、緊急雇用対策事業であります。本年度におきましては、失業者のほかにも新卒及び既卒の未就職者も対象として緊急雇用対策事業に取り組んでおります。本年4月からの事業といたしましては、既に10事業を実施しているほか、10月から1事業を予定しております。また、追加事業として医療事務従事者育成などの地域人材育成委託4事業を計画しており、これによ

り今年度の緊急雇用対策事業につきましては、15 事業で新規雇用 45 人、事業費総額は 1 億 1,340 万 5,000 円となる予定であります。

なお、本定例会において追加事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところがあります。

8 三井アウトレットパーク札幌北広島について

次に、三井アウトレットパーク札幌北広島についてであります。ファッション関係を中心に 128 店舗が出店し、4 月 22 日にグランドオープンを迎えたところであり、これまで市内外から多くの来客者があったところであります。

この開業により雇用の拡大が図られるとともに地域経済の活性化など市の発展に寄与するものと期待しているところであります。

9 消防の広域化について

次に、消防の広域化についてであります。北海道消防広域化推進計画を受け、石狩管内 5 消防本部で検討を重ねてまいりました。その結果、管轄面積、日常生活圏、交通事情などから、北広島市、千歳市、恵庭市の石狩南部地区と江別市、石狩北部地区消防組合の石狩北部地区に分けて広域化を行うこととし、平成 22 年 3 月 31 日、北海道知事から承認されたところであります。今後、市民の皆様が安全で安心して生活できる環境の確保を重点に据えた、広域消防運営計画などを検討してまいりたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。